

じんけんこうえんかい 人権講演会
がつ 1月31日(土) にち ども

「こんなはずじゃなかった」

たけもとのぶや
～竹本信也さん～



おしらせ

4月から神村コミュニティセンターは 土足での利用に変更します

これまで施設内に入られる際は玄関にて履物を脱いでスリッパに履き替えていただいておりますがスリッパによる転倒事故等の防止のため、4月からは土足による入館に変更します。玄関にはマットを敷きますので、泥や汚れを落としてから靴のままお入りください。

- ・体育館を利用する際は体育館シューズに履き替えてください
- ・遊戯室を利用する際は設置してあるスリッパに履き替えてください
- ・トイレも土足でご利用ください。

※ご不明な点があれば職員へおたずねください

昨年さくねんの小・中・高しょう ちゅう こうの自殺者数じさつしゃすうが過去最多か こ さい たの532人にんにおよび、大切な命たいせつ いのちを落おとしてしまう異常いじょうな状態じょうたいに危機感ききかんを覚おぼえた話はなしからはじまりました。

「誰もだれが自分らしく生きるじぶん いことのできる社会しゃかい、人権じんけんと平和へいわが守まもられ、差別さべつのない世よの中なかになるはずはずだったんじゃないのか？

どこで何がなに変わかってしまったのか？」

竹本さんたけもとは今いままで学生時代がくせいじだいに受うけてきた同和教育どうわきょういくの中で、自分自身なかには差別さべつをしないという思いおもいで生きてきました。しかし、大学生だいがくせいの時とき、同和教育どうわきょういくの講義こうぎで結婚差別けっこんさべつについてのグループワークとおを通して、自分の中じぶん なかの差別意識さべついしきに気づききました。その後ごさまざまひとな人ひととの出で会いにより、差別さべつと人権じんけんについて常つねに関心かんしんを持ち、自身もの意識いしきと向き合むってきた事ことが今いまの活動かつどうにつながつながっていると話はなされました。

さまざまさべつな差別さべつが残り続ける社会のこの中で、差別さべつの問題もんだいを他人事ひとごとではなく自分事じぶんごととしてとらえる視点してんを持ち、自分自身もと向き合むうことが大切たいせつです。

それがだれけんりの権利うばも奪しゃかいわれない社会だにしていくための第一歩だいいっぽになるのではないのでしょうか？

多数たすうの方かたにご参加さんかいただき、ありがとうございました。

2025年度 講座報告

高齢者交流事業



看護師による骨を意識するヨガや健康体操講座、100歳体操、脳トレーニング、プロによる笑顔の写真撮影など毎日を健康に過ごすことを目標に、神村ふれあいプラザで講座をおこないました。

子育て交流事業



夏休み平和学習では、日々の幸せについて絵本の読み聞かせを通して考えました。手作りうどん教室では食べ物を作る工程を体験しました。子育て中のママ講座ではヨガとウォーキングの姿勢について学びました。

地域交流事業



パンフルートの音色に癒されたり、ヨガ講座では全身をほぐしました。写真講座では顔の筋肉をほぐす体操をおこない、素敵な笑顔の写真がとれました。

人権啓発講座



ミュージックケアは子どもをありのまま受け入れ保護者と子どもが一緒に楽しみました。施設利用者学習会は年に二度開催し、多くの方が集まり部落差別をはじめ、さまざまな人権課題について考えることができました。